

学若し成らずんば死すとも帰らず	208
学問は一生の宝	208
佳人薄命	30
語るに落ちる	124
渴しても盗泉の水を飲まず	101
蟹は甲羅に似せて穴を掘る	195
金は天下の回り物	93
禍福は糾える縄の如し	182
亀の甲より年の功	118
空騒ぎ	24
借りるときの地藏顔, 返すときの閻魔顔	85
可愛い子には旅させよ	158
可愛さ余って憎さ百倍	7

[き]

既往は咎めず	145
聞くは一時の恥, 聞かぬは一生の恥	3
窮すれば通ず	62
今日学ばずして来日ありと謂う勿れ	208

[く]

苦あれば楽あり	181
口叩きの手足らず	135
口は災いの元	202
口は禍の門 (元)	125
苦は楽の種	75
苦しいときの神頼み	175

[け]

君子豹変す	195
鶏口となるも牛後となるなかれ	88, 91
下衆の勤練り	105
外面如菩薩内心如夜叉	2-3

[こ]

恋路の闇	164
恋と哀れは種一つ	165
恋は思案の外	164
光陰矢の如し	51
後悔先に立たず	57

好機逸すべからず	9, 54
剛毅朴訥仁に近し	201
巧言令色鮮し仁	33, 201
恒産無き者は恒心無し	99
甲の薬は乙の毒	6
弘法にも筆の誤り	151
弘法筆を選ばず	48
高木風に折らる	59
紺屋の明後日	56
極楽往生	212
虎穴に入らずんば虎子を得ず	69
心ここに在らざれば聴けども聞こえず	63
心ここに在らざれば視れども見えず	63
心に連るる姿	35
乞食を三日すれば止められぬ	156
五十歩百歩	152
この親にしてこの子あり	154
この主人にしてこの家来あり	79
転ばぬ先の杖	69, 187
衣ばかりで和尚はできぬ	35
今生飾れば後生飾る	212

[さ]

細工は流々仕上げを見よ	38
歲月人を待たず	51
去る者は日々に疎し	21
触らぬ神に祟り無し	58
三十六計逃げるに如かず	70
三人連れは喧嘩の元	81
三人寄れば文殊の知恵	112

[し]

仕上げが肝心	38
自業自得	141
地獄の沙汰も金次第	98
獅子身中の虫	86
死者に鞭打つ	128
親しき仲に垣をせよ	20
失意泰然得意淡然	191
失敗は成功のもと	7

釈迦に説法	118
蛇の道は蛇	106
十で神童, 十五で才子, 二十過ぎればた だの人	71
十人十色	170
柔よく剛を制す	70, 72, 195
主が主なら家来も家来	79
朱に交われれば赤くなる	80
小人閑居して不善を為す	138
冗談から駒が出る	122
少年老い易く学成り難し	52, 208
消費者は神様	98
諸行無常	171
知らぬ神より馴染みの鬼	195
知らぬが仏	111
死んで花実が咲くものか	183
心配は身の毒	162

[す]

過ぎたるは猶（なお）及ばざるが如し	7, 67, 192
棄てる神あれば拾う神あり	57
寸鉄人を刺す	120

[せ]

精神一到何ごとか成らざらん	62
盛年重ねて来たらず	54
性は改むべからず	153, 156
積善の家に余慶あり	212
背に腹は代えられぬ	66
千丈の堤も蟻の一穴から	26
先着順	56
船頭多くして船山に登る	89
千里の道も一歩から	3

[そ]

備え有れば患い無し	187
-----------	-----

[た]

大山鳴動して鼠一匹	24
大食短命	190
大は小を兼ねる	3
大欲は無欲に似たり	192
鷹は飢えても穂をつまず	23
多芸は無芸	49
多言は身を害す	125
叩けば埃が出る	151
矯めるなら若木のうち	118
足らぬは余るよりよし	193
足るを知る者は富む	67, 191
短気は損気	71

[ち]

治にいて乱を忘れず	188
忠言耳に逆らう	129
忠臣は二君に仕えず	216
ちりも積もれば山となる	3

[つ]

角を矯めて牛を殺す	48
-----------	----

[て]

出る杭は打たる	206
点滴石を穿つ	74
天に口なし, 人を以て言わしむ	121

[と]

灯台下暗し	7, 19
同病相憐れむ	86
桃李もの言わずとも下自ずから蹊を成す	36
遠くて近きは男女の仲	7
遠くの親類より近くの他人	18
毒を喰らわば皿まで	104
毒をもって毒を制す	106
所変われば品変わる	171
鳶が鷹を生む	155
捕らぬ狸の皮算用	186
虎の威を借る狐	206

虎の口より人の口恐ろし	215
泥棒にも三分の理	7
[な]	
泣きっ面に蜂	174
無くて七癖	151
情けは人の為ならず	7, 140
生兵法は怪我のもと	110
習い性となる	156
習うより慣れよ	73
[に]	
憎まれっ子世に憚る	103
日日是好日	206
[ぬ]	
盗人にも仁義あり	83
盗人を見て縄をなう	57
濡れぬ先こそ露をも厭え	104
[ね]	
寝た子を起こすな	59
念には念を入れよ	69
[の]	
能ある鷹は爪を隠す	132-133
乗りかかった船	73
[は]	
始めの勝ちは糞勝ち	38
八十の手習い	118, 209
齒に衣着せるな	126
早起きは三文の得	55
早寝早起き病知らず	55
腹が減っては戦ができぬ	100
腹八分目に医者要らず	190
針とる者は車とる	104
反面教師	113

[ひ]	
庇を貸して母屋を取られる	104
美人というも皮一重	30
秘すれば花	202
匹夫も志を奪うべからず	63
人の噂も七十五日	172
人の口には戸が立てられず	127
人のふり見て我がふり直せ	113
人は一代、名は末代	215
人を呪わば穴二つ	141
火の無い所に煙は立たぬ	139
ひもじい時のまずい物なし	63
百日の説法屁一つ	128
百聞は一見に如（し）かず	116, 131, 207
[ふ]	
覆水盆に返らず	57
不言実行	136
武士は喰わねど高楊枝	215
二つよいことはない	50
故きを温ねて新しきを知る	112, 209
分別過ぐれば愚に返る	7
[へ]	
下手な鉄砲も数撃ちや当たる	22
下手の道具調べ	48
[ほ]	
細くも長かれ	194
本末転倒するな	189
[ま]	
蒔かぬ種は生えぬ	139
馬子にも衣装	34
待つ身は長い	51
待てば海路の日和あり	181
学びて思わざれば則ち罔く、思いて学ばざれば則ち殆うし	209
学ぶに如かず	208

[み]	
身から出た錆さび	141
見猿, 聞か猿, 言わ猿	83
水は低きに流る	188
三日坊主	74
三つ子の魂百まで	156
実る稲田は頭垂る	206
実るほど頭の下がる稲穂かな	33
見目より心	35
[む]	
無病息災	193
[め]	
冥土の道は王もなし	173
目は口ほどにものをいい	131
面従腹背	33
[も]	
求めよ, さらば与えられん	65
もの言えば唇寒し秋の風	202
門前市を成す	84
門前雀羅を張る	84
[や]	
安物買いの銭失い	42
柳の枝に雪折れはなし	70, 195

藪をつついて蛇を出す	59
病を知れば癒ゆるに近し	109
[よ]	
世の中は相持ち	179
夜目遠目傘の内	31
寄らば大樹の陰	91
[ら]	
楽あれば苦あり	185
[り]	
両雄並び立たず	89
[る]	
類は友を呼ぶ	79
[ろ]	
六十の手習い	118, 209
論より証拠	116
[わ]	
若気の至り	114
若気の無分別	114
割れ鍋に綴じ蓋	79
和をもって尊しとなす	206